

令和6年度版『小学道徳5 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表（案）

2024年4月

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）  
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	—	教材に示された文章をもとに、自分で考えたり、友達と考えを交流したりする活動とおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話とおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。	—
4月③	1 今度こそ！ 「責任ある行動とは」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	集会委員会での失敗から「ぼく」が学んだことについて考えることとおして、自由と自分勝手の違いを理解し、自他の自由を尊重しつつ責任ある行動をとろうとする判断力を育てる。	1. 責任をもつということについて考える。 ○自分の行動に責任をもつとは、どういう意味でしょう。 2. 『今度こそ！』を読んで、自由と責任の大切さについて考える。 【考えよう】 ○自分のほかにもリハーサルに来ていない人がいたことを知ったとき、「ぼく」はどのようなことを考えていたでしょう。 ★次の集会が大成功だったのは、「ぼく」がどのようなことに気づいたからでしょう。 3. 自由と自分勝手の違いを理解し、責任ある行動をとることの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自由を優先してしまって、責任ある行動をとれなかったことはありますか。また、そのときの自分にアドバイスするとしたら、どのような言葉をかけたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○責任ある行動をとることについて、高学年として、これからどのような場面で、どのように生かしていきたいですか。	【多面的・多角的に考える】 *自由と自分勝手の違いに気づき、責任ある行動をとるためにはどうすればよいかということについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自由と自分勝手の違いを区別して、責任ある行動をとることの大切さを理解し、任された役割を責任をもってやり遂げることについて、自分との関わりで考えることができているか。	特別活動、児童会活動
	2 たからもの 「自分のよさを見つめて」 【A 個性の伸長】	1	自分のよいところに気づき、自信を取り戻していく「わたし」の姿について考えることとおして、自分の長所を知り、それを伸ばすことへの考えを深め、自信をもって前向きに生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分のよさについて考える。 ○自分の長所と短所はどんなところでしょう。 2. 『たからもの』を読んで、自分の長所について考える。 【考えよう】 ○算数のノートを放り投げたとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。 ★5冊の日記帳を読んだ「わたし」の心の中のもやもやが晴れていったのは、「わたし」がどのようなことに気づいたからでしょう。 3. 長所を伸ばしていく大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の長所を伸ばしていくと、どのようなよいことがあるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○友達にはどのような「よいところ」がありますか。グループの中でお互いに伝え合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の長所と短所に気づき、短所を改め長所を伸ばしていくにはどうしたらよいかということについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分の長所と短所を理解し、短所を改め長所を伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	3 場面に合わせたあいさつ 「心のこもったあいさつ」 【B 礼儀】 〈モラルスキル〉	1	病院や学校の廊下などでの挨拶のしかたを体験的に学ぶこととおして、場面に応じた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 場面による挨拶の違いについて考える。 ○場面によって、挨拶のしかたが変わるのでしょうか。 2. 役割演技とおして、場面に合わせて挨拶をすることの大切さについて考える。 ○病室での挨拶をしてみましょう。 ○廊下で笑いながら話している校長先生とお客さんに、挨拶をしてみましょう。 ○廊下で大切そうな話をしている校長先生とお客さんに、挨拶をしてみましょう。 3. 場面に合わせて挨拶をすることの大切さについて確かめる。 ★場面によって、挨拶のしかたが変わるのはなぜか、考えてみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *場面に合わせた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶することについて、役割演技とおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *場面に合わせた挨拶をすることを理解し、真心をこめて礼儀正しく挨拶することについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、挨拶運動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
5月 ③ ■	4 よさこいソーラン祭り 「郷土の人を元気に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	「ぼく」が自分の町を誇りに思う気持ちについて話し合うことをとおして、日本や地域の伝統や文化を受け継ぐことの大切さに気づき、その文化を発展させようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 郷土に受け継がれている伝統や文化について考える。 ○みんなが住むところでは、どんな祭りがあるでしょう。 2. 『よさこいソーラン祭り』を読んで、郷土に受け継がれる行事や文化を受け継いでいくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「ぼく」とつとむさんは、6月には札幌の「よさこいソーラン祭り」、夏休みには高知の「よさこい祭り」を一緒に見に行こうと約束したのでしょうか。 ★「ぼく」が「よさこいソーラン祭り」がある札幌に住んでいることをうれしく思ったのは、どうしてでしょうか。みんなで話し合ってみよう。 3. 郷土に受け継がれている伝統や文化の大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○日本や地域の伝統、文化を受け継ぐときに大切にしたいことはどのようなことか、自分の考えをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○日本や自分たちの住む地域に、昔から受け継がれている祭りはありますか。その祭りの歴史などを調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 国や郷土に受け継がれている伝統や文化の大切さに気づき、それらを受け継いでいくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国や郷土に受け継がれている伝統や文化を理解し、それらを受け継ぐことについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、伝統文化教育、地域行事
	5 位置について！ 「公正・公平な態度で」 【C 公正、公平、社会正義】	1	大輔が練習しているところを見て考えを変える「ぼく」と信二について話し合うことをとおして、差別したり、偏見をもったりしないようにすることの大切さに気づき、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。	1. 公正・公平な態度について考える。 ○どんな人にも、公正・公平な態度で接することができるのでしょうか。 2. 『位置について！』を読んで、公正・公平な態度で人と接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」と信二が、思わず顔を見合わせたのはどうしてでしょうか。 ★大輔に対して不満だった「ぼく」と信二が、最後に大きな声で応援したのはどうしてでしょうか。 3. 公正・公平な態度で人と接することの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「ぼく」と信二のように、人に対して、見方や考え方が変わったことはありますか。それはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 誰に対しても差別したり、偏見をもったりしないことの大切さに気づき、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 誰に対しても差別することや偏見をもつことのないようにすることを理解し、公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、法教育、福祉教育
6月 ④ ■	6 公益のために生きる —— 渋沢 栄一 —— 「生き方を見つめて」 【D よりよく生きる喜び】	1	公共の発展のために力を尽くした渋沢栄一の生き方について話し合うことをとおして、よりよく生きようとする人の強さや気高さに気づき、夢や希望をもって生きようとする心情を育てる。	1. 日本のために力を尽くした人の生き方から学ぶ。 ○「公益のために生きる」って、どういうことでしょうか。 2. 『公益のために生きる』を読んで、みんなのために生きようとする人の気高さについて考える。 【考えよう】 ○渋沢栄一が、多くの事業で成功したのはどうしてでしょうか。 ★栄一の生き方からどのようなことを学び、どのようなことを考えましたか。 3. みんなのために生きようとする人のよさについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○栄一の生き方から学んだことを、自分の生活にどのように生かしたいと思えますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 人間の強さや気高さを、誇りある生き方や他の諸価値の視点から捉え直し、喜びのある生き方について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * よりよく生きようとする人を理解し、夢や希望をもって生きることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、キャリア教育、福祉教育
	<コラム> ◆ 渋沢栄一ゆかりの地		『公益のために生きる』で学習したことを踏まえて、渋沢栄一に関する施設にはどのようなものがあるのかについて知り、渋沢栄一の生き方や渋沢栄一が残した貴重な足跡を理解させる。			社会

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
ユニット: いじめをなくす						
	7 言葉のおくりもの 「みんなで力を合わせて」 【B 友情、信頼】	1	周囲の声などに左右されずに人と接するすみ子や態度を変えてしまう一郎について話し合うことをとおして、友達と互いにわかり合い、関係を築いていくことの大切さに気づき、互いに助け合い、友情を深め合っていこうとする心情を育てる。	1. 友達の大切さについて考える。 ○友達のいいところを紹介し合しましょう。 2. 『言葉のおくりもの』を読んで、友達を信頼し、助け合うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○すみ子の考えについて、どのように思いますか。 ★すみ子の「言葉のおくりもの」のあと、一郎はすみ子に対してなんと話しかけるでしょう。 3. 友達を信頼し、助け合うことについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○みんなが力を合わせていけるようになるためには、どのようなことが大切でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友達と互いにわかり合うことの大切さに気づき、互いに助け合い友情を深め合っていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *友達と互いにわかり合うことを理解し、互いに助け合い友情を深め合っていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	8 SNSいじめ 「あなたならどうする」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	いじめを受けてる「わたし」の姿について話し合うことをとおして、自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動しようとする心情を育てる。	1. SNSについて考える。 ○SNSのいいところって、なんでしょう。 2. 『SNSいじめ』を読んで、いじめられているときにはどのような判断をすればよいかについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が先生や親に相談できなかったのは、どのような気持ちからだったのでしょうか。 ★このようなことが起こったとき、誰かに相談するとよいのはなぜでしょう。話し合ってみよう。 3. いじめを受けている人がいるときには、どのような判断をすればよいかを自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が「わたし」から相談されたとしたら、どうしますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自律的に判断することを理解し、自ら判断して行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。	総合的な学習、学級活動、児童会活動、情報モラル教育
	〈コラム〉 ひとりがかかえこまないで！	—		『言葉のおくりもの』や『SNS いじめ』で学習したことを踏まえて、「いじめ」で悩んでいるときは、できるだけ早く、誰かに相談することが大切であることを理解させる。		特別活動
7月②	9 横浜港のガンマンの思い 「みんなのために働く」 【C 勤労、公共の精神】	1	仕事に対する上坪茂さんの考え方について話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、公共のために役に立つとする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなのために働くということについて考える。 ○学校の係や委員の仕事をするとき、どう取り組んでいるでしょう。 2. 『横浜港のガンマンの思い』を読んで、みんなのために働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○上坪茂さんが、作業が一時中止したときに「気長に待つか」と言えるようになったのは、どのようなことに気づいたからでしょう。 ★仕事に対する上坪さんの考え方にふれて、どのようなことを考えましたか。 3. みんなのために働くということについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○働くことの大切さとはなんでしょう。みんなで話し合ってみよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○自分は将来、どのような仕事に就き、どのように仕事をしたいと思いますか。就きたい仕事について、いろいろ調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *働くことの大切さに気づき、公共のために役に立つことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *仕事に対する考え方を話し合うことをとおして、働くことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、キャリア教育
	10 参考にするだけなら 「自分の心に正直に」 【A 正直、誠実】 〈問題を解決する〉	1	知子さんの行動や心情について話し合うことをとおして、うそやごまかしをせずに正直でいることの大切さに気づき、誠実に明るく生活しようとする判断力を育てる。	1. 正直でいることについて考える。 ○うそやごまかしをして、そのあと正直に言い出しにくくなってしまったとき、どうしますか。 2. 『参考にするだけなら』を読んで、正直でいることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○知子さんのしたことの問題は、どこにあるでしょう。 【解決方法を考える①】 ○知子さんがベッドの上で想像している二通りの姿について、どのように思いますか。 【解決方法を考える②】 ○自分が知子さんだったら、このあとどのようにしますか。みんなで話し合ってみよう。 【考えたことを生かす】 ○うそをつかずに、正直に生きていくために、自分はこれからどのようなことに気をつけたいですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *うそやごまかしをせず正直でいることの大切さに気づき、誠実に明るく生活することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *うそやごまかしをせず正直でいることを理解し、誠実に明るく生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、法教育、読書感想文

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
9月③	11 わたしにできることを 「家族のためにできること」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おじいちゃんへの「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、家族に対する敬愛を深めることの大切さに気づき、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとする心情を育てる。	1. 家族のためにできることについて考える。 ○みんなが家族のためにやっていることはありますか。 2. 『わたしにできることを』を読んで、家族のためにできることについて考える。 【考えよう】 ○おじいちゃんに頭をなでてもらったとき、「わたし」の目から自然と涙があふれ出たのはどうしてでしょう。 ★「わたし」は、どのような思いでおじいちゃんに話しかけているのでしょうか。 3. 家族のためにできることについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が家族のためにしたいことは、どのようなことですか。また、それはどうしてですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族に対する敬愛を深めることの大切さに気づき、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとするについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *家族に対して敬愛の念をもち、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。	福祉教育
	12 図書館はだれのもの 「自他の権利を大切に」 【C 規則の尊重】 〈問題を解決する〉	1	みんなの態度や「わたし」の気持ちについて話し合うことをとおして、きまりやマナーの意義に気づき、自他の権利を尊重し義務を果たそうとする実践意欲と態度を育てる。	1. きまりを守るについて考える。 ○しらすらすのうちに、きまりを破ってしまっていることってないでしょうか。 2. 『図書館はだれのもの』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○「わたし」は、何を言おうかと迷っているのでしょうか。また、それはどうしてでしょう。 【解決方法を考える①】 ○自分が「わたし」だったら、このあとどのようにしますか。みんなで話し合しましょう。 【解決方法を考える②】 ○誰もが図書館を気持ちよく利用するために、どのようなことが大切なのでしょう。 【考えたことを生かす】 ○身のまわりにあるきまりは、なんのために作られているのか考えましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *きまりやマナーを守ることの大切さに気づき、自他の権利を尊重し、義務を果たすことについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *きまりやマナーを理解し、自他の権利を尊重し義務を果たすことについて、自分との関わりで考えることができていますか。	学級活動
	13 稲むらの火 「大切な命を守る」 【D 生命の尊さ】	1	村人を救おうとして行動する五兵衛について話し合うことをとおして、命の大切さに気づき、かけがえのない命を守り、尊重しようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○人の命を守ったり、救ったりすることに力を尽くした人を知っていますか。 2. 『稲むらの火』を読んで、命の大切さについて考える。 【考えよう】 ○津波が来るとわかったとき、五兵衛はどのようなことを考えたでしょう。 ★五兵衛はどのようなことを考えながら、高台に上がってくる村人の数を数えたのでしょうか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が五兵衛だったら、どのような行動をとったと思いますか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *命をさまざまな視点から捉え、かけがえのない命を守り尊重することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *命の尊さを理解し、かけがえのない命を守り尊重することについて、自分との関わりで考えることができていますか。	学校行事、防災教育
10月④■	14 二億人を救った化学者 ——大村 智—— 「探究心をもち続ける」 【A 真理の探究】	1	大村智先生の生き方について話し合うことをとおして、探究心をもち続けることの大切さに気づき、真理を探究していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 探究するということについて考える。 ○「二億人を救った」とは、どういう意味でしょう。 2. 『二億人を救った化学者』を読んで、物事を探究しようとする心をもつことについて考える。 【考えよう】 ○研究者となり、自分も泥をかぶる覚悟で新しい物質を発見する仕事をしようと思ったとき、大村智先生はどのような気持ちだったでしょう。 ★どうして大村先生はイベルメクチンを開発することができたのでしょうか。みんなで話し合しましょう。 3. 探究心をもち続けることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○大村先生の生き方から学んだことはどのようなことですか。また、これからの生活の中で生かしてみたいと思ったのはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *探究心をもち続けることの大切さに気づき、真理を探究していくことについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *探究心をもち続けることを理解し、真理を探究していくことについて、自分との関わりで考えることができていますか。	理科、キャリア教育
	〈コラム〉 ◆未来をになう子どもたちに ◆未来の自分のために今できることを		『二億人を救った化学者』で学習したことを踏まえて、身のまわりのいろいろな物事に興味や関心をもつこと、それらを探究していくことの大切さについて理解させる。			理科、社会



学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	15 わたしとあなたの「ふつう」はちがう 「公正・公平な社会とは」 【C 公正、公平、社会正義】	1	みんなが感じている「ふつう」について考えることをとおして、一人一人の違いを理解して尊重することの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接する実践意欲と態度を育てる。	1. 公正・公平について考える。 ○ふだんの生活で、「公平」だと感じるのは、どんなときでしょう。 2. 『わたしとあなたの「ふつう」はちがう』を読んで、誰に対しても公正・公平な態度でいることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○自分の「ふつう」と、ほかの人の「ふつう」が違うと感じたことはありますか。 ★みんながそれぞれの違いを尊重して生きるために大切なことは、どのようなことでしょうか。 3. 公正・公平な態度でいることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○みんなが幸せに生きる社会を実現するために、どのようなことを大切にしたいと思えますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *誰でも一人一人に違いがあることに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *誰でも一人一人が違うことを理解し、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、総合的な学習
	＜コラム＞ ◆バリアフリーな社会へ		『わたしとあなたの「ふつう」はちがう』で学習したことを踏まえて、一人一人の立場や事情の違いを考え、誰もが安心して生活していける社会をみざして、「心のバリアフリー」化を進めることの大切さを理解させる。			社会、総合的な学習
	16 森の絵 「自分の役割を考えて」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	えり子さんの考え方の変化について話し合うことをとおして、クラスや学校で役割を果たすことの大切さに気づき、自分の役割を自覚しながらみんなと協力し合っよりよいクラスや学校をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の役割について考える。 ○自分は、クラスや学校の中で、どんな役割を果たしているでしょう。 2. 『森の絵』を読んで、自分の役割を果たすことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○えり子さんの考え方は、どのように変化したのでしょうか。 ★えり子さんの考え方は、どうして変わったのでしょうか。 3. 自分の役割を果たすことの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○クラスや学校で自分の役割を果たしていくときに、どのようなことに気をつけていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○クラスの中で、自分の役割をしっかりと果たしている人に感謝の手紙を書いてみましょう。書いた手紙は相手に渡しましょう。	【多面的・多角的に考える】 *クラスの中で自分が果たすべき役割などに気づき、役割を自覚しながらみんなと協力し合っよりよいクラスなどをつくることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *クラスの中で自分が果たすべき役割を理解し、役割を自覚しながらみんなと協力し合っよりよいクラスなどをつくっていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動、学習発表会
11月④■	17 ルールを守る 「法やきまりを守って」 【C 規則の尊重】 ＜モラルスキル＞	1	日常生活の場面における「わたし」の言動を体験的に学ぶことをとおして、ルールやマナーの意義や大切さに気づき、すすんでそれらを守らうとする判断力を育てる。	1. 法やきまりの大切さについて考える。 ○「少しぐらいいいだろう」と思って、ルールを守らなかつたことはないでしょうか。 2. 役割演技をおして、ルールを守ることの大切さについて考える。 ○「ぼく」を演じてみましょう。 ○「わたし」とお母さんになって、二人のやりとりを演じてみましょう。 3. ルールを守ることの大切さについて確かめる。 ★ルールを守って生活することの大切さについて、話し合ってみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *場面に合わせたルールやマナーを守ることの大切さに気づき、すすんでそれらを守らうすることについて、役割演技をおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *場面に合わせたルールやマナーを守ることを理解し、すすんでそれらを守らうすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動、法教育
ユニット：人と人がみとめ合う社会						
	18 モントゴメリーのバス 「差別のない社会へ」 【C 公正、公平、社会正義】	1	ローザ・パークスさんの行動やキング牧師がボイコット運動を続けた理由について話し合うことをとおして、差別をしないことや偏見をもたないようにすることの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	1. 差別について考える。 ○差別をなくすには、どうしたらいいでしょう。 2. 『モントゴメリーのバス』を読んで、差別をなくすにはどうしたらよいかについて考える。 【考えよう】 ○席を立たなかつたパークスさんをどのように思いますか。また、どうしてそのように思いますか。 ★バスのボイコット運動を続けたキング牧師をどのように思いますか。また、どうしてそのように思いますか。 3. 差別をなくすことについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○差別のない社会を実現するために、自分が大切にしたいことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *差別をしないことや偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *差別をしないことや偏見をもたないことの大切さを理解し、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、人権教育
	＜コラム＞ 現代社会にも残る差別の問題	—	『モントゴメリーのバス』で学習したことを踏まえて、誰もが自由に安心して生活できる社会を実現していくために、決して差別をしない・させないようにすることが大切であることを理解させる。			社会、総合的な学習

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	19 ロレンゾの友達 「本当の『友情』とは」 【B 友情、信頼】	1	アンドレ、サバイユ、ニコライ三人それぞれの「友達」に対する考え方の違いについて話し合うことをとおして、友情の大切さに気づき、友達と互いに信頼し合って友情を育もうとする心情を育てる。	1. 「友情」について考える。 ○誰かを友達だと感じるの、どんなときでしょう。 2. 『ロレンゾの友達』を読んで、本当の「友情」について考える。 【考えよう】 ○もし夜中にロレンゾが訪ねてきたらどうするかということに対して、三人の考え方はどのように違っていたでしょう。 【やってみよう】 ○ロレンゾが訪ねてきたら、三人はどのように話すでしょう。それぞれの役を演じて、三人がそう話す理由を考えてみましょう。 ★三人の考え方のうち、自分の考え方にいちばん近いものはどれでしょう。その理由も考えましょう。 3. 本当の「友情」について確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○本当の「友情」とは、どのようなものでしょう。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友情の大切さに気づき、友達と互いに信頼し合って友情を育むことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友情について理解し、友達と互いに信頼し合って友情を育むことについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
12月③	20 お父さんのすがたから 「感謝の気持ちを伝えるには」 【B 感謝】	1	餅つき大会の準備で一生懸命に働くお父さんの姿やそれを見る「ぼく」について話し合うことをとおして、感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、自分の生活を支えてくれている人たちに対して、すすんで感謝しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 感謝するということについて考える。 ○日頃、どんな人たちが、みんなの生活を支えてくれているか考えましょう。 2. 『お父さんのすがたから』を読んで、感謝の気持ちを伝えることのよさについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」がいつも以上に大きな声で「いただきます。」と言ったのは、どうしてでしょう。 ★お父さんは、どのような思いで餅つき大会の手伝いをしていたのでしょうか。 3. 感謝の気持ちを伝えることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の生活を支えてくれている人々に対して、どのようなことができるか考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *身のまわりの人たちに感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、自分の生活を支えてくれている人たちにすすんで感謝しようとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *身のまわりの人たちに感謝の気持ちを表すことを理解し、自分の生活を支えてくれている人たちにすすんで感謝しようとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	特別活動、社会参画教育、学校行事
	21 トキのまう空 「自然を大切に」 【D 自然愛護】	1	近辻宏婦さんを取材した「わたしたち」が、自然環境を守るためにやるべきことをどのように考えたかについて話し合うことをとおして、自然環境を守ることの大切さに気づき、自然と調和しながら生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自然を大切にすることについて考える。 ○トキの保護と自然環境保護の関係について考えてみましょう。 2. 『トキのまう空』を読んで、自然環境を守ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○トキを自然に帰すために活動し続けた近辻宏婦さんを支えていたのは、どのような思いでしょう。 ★取材を終えた「わたしたち」は、環境を守るということについてどのように考えているでしょう。 3. 自然環境を守ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○環境を守るために自分たちができることは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *一度失われた自然環境を取り戻すには困難が伴うことに気づき、環境保護の大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *身のまわりの自然環境を守ることを理解し、自然を守って生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	理科、自然環境保護教育
ユニット：情報と向き合う						
	22 ネット上の友達 「節度を守って安全に」 【A 節度、節制】	1	インターネットの世界と現実でのさやかかの行動について話し合うことをとおして、節度を守って安全に生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直ししながら、安全に生活しようとする判断力を育てる。	1. インターネットを使うときの注意点などについて考える。 ○スマートフォンやパソコンを使うとき、家の人とどんなルールを決めているでしょう。 2. 『ネット上の友達』を読んで、インターネットを活用しながら、節度を守って安全に生活することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○さやかかの行動の問題となる点について、みんなで話し合みましょう。 ★さやかにアドバイスをするとしたら、どのようなアドバイスをしますか。 3. インターネットを活用しながら、節度を守って安全に生活することについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○さやかかの行動から、今後気をつけていきたいと考えたことはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *節度を守って安全に生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直ししながら、安全に生活することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *節度を守って安全に生活することを理解し、自分の生活を見直ししながら安全に生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	総合的な学習、学級活動、情報モラル教育
	〈コラム〉 インターネットの落としあな	—	『ネット上の友達』で学習したことを踏まえて、インターネットを活用する際の危険性に気づき、注意して活用していく必要があることを理解させる。			総合的な学習

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連	
1月 ③	23 パール富士のかがやき 「大自然の美しさにふれて」 【D 感動、畏敬の念】	1	自然が作り出す美しさにふれた「わたし」の気持ちについて考えることをとおして、人間の力を超えたものに対する理解を深め、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりする心を大切にしようとする心情を育てる。	1. 身のまわりの自然やそれ以外のもの美しいものについて考える。 ○「美しいもの」として思い浮かぶのは、どのようなものでしょう。 2. 『パール富士のかがやき』を読んで、自然の美しさについて考える。 【考えよう】 ○寒さの中、「わたし」はどのような思いで月が昇るのを待っていたのでしょうか。 ★シャッターをきるのも忘れて「パール富士」を見ていた「わたし」は、どのような気持ちだったでしょう。 3. 自然の美しさに感動することのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「自然の美しさ」に出会って感動した経験について、みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *美しいものに感動することのよさに気づき、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *美しいものに感動することのよさを感じ取り、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	理科	
	〈コラム〉 ◆大自然の造形美		『パール富士のかがやき』で学習したことを踏まえて、大自然が作り出すさまざまな造形美に気づき、その美しさや気高さに感動する心を理解させる。			社会、理科	
	<b>ユニット：自然を大切に作る</b>						
	24 食品ロスをどう防ぐ？ 「生活を見直してむだをなくす」 【A 節度、節制】	1	生活を見直し、無駄をなくすことについて話し合うことをとおして、節制をすることの大切さに気づき、すすんで節度を守り節制を心がけようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 無駄をなくすことについて考える。 ○これまでの生活で「もったいない」と感じたのはどんなことでしょうか。 2. 『食品ロスをどう防ぐ？』を読んで、生活を見直し、節制をすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○112 ページの三つの絵を見て、考えたことや感想を話し合しましょう。 ★食品ロスを減らす取り組みに共通しているのは、人々のどのような思いなのでしょう。 3. 生活を見直し、節制をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○食品ロスを減らすために、自分にできることはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *節制をすることの大切さに気づき、すすんで節度を守り節制を心がけることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *節制をすることを理解し、すすんで節度を守り節制を心がけることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、体育、食育	
25 一木一石運動 ——自然保護活動のさががけ—— 「みんなで自然を守る」 【D 自然愛護】	1	一木一石運動の成果について話し合うことをとおして、自然環境を守ることの意義や大切さに気づき、自然を大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自然環境を守ることについて考える。 ○自分たちが住んでいるところには、どんな自然があるでしょう。 2. 『一木一石運動』を読んで、自然環境を守ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「自然が大切だ」といわれるのは、どうしてだと思いますか。 ★どうして、多くの人々が一木一石運動に協力したのでしょうか。その行動を支えた思いについて、みんなで話し合しましょう。 3. 自然環境を守ることについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○身近な自然を守るために、どのようなことができるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 5. 日常生活への発展を考える。 【つなげよう】 ○自分たちの地域で行われている自然保護活動について調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自然環境を守ることの意義や大切さに気づき、自然を大切に生活することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自然環境を守ることの意義を理解し、自然を大切に生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、理科、総合的な学習、自然環境保護教育		
〈コラム〉 環境を守るために、できることから始めよう	—	『食品ロスをどう防ぐ？』や『一木一石運動』で学習したことを踏まえて、自然環境を守ることの大切さに気づき、自分ができることからその取り組みを進めていく必要があることを理解させる。			社会、理科、総合的な学習		
2月 ④	26 青い目の人形 「国をこえた友情」 【C 国際理解、国際親善】	1	人形に対する土居村の小学校の子どもの思いや、人形を処分しなかった先生たちについて話し合うことをとおして、他国の人たちと心を通わせて交流することの大切さに気づき、すすんで他国の人たちと親しくしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 国どうしの交流について考える。 ○人形をとおした国際交流があったことを知っているでしょうか。 2. 『青い目の人形』を読んで、国際交流のよさについて考える。 【考えよう】 ○歓迎式をしたとき、学校のみんなはどのような気持ちだったでしょう。 ★どうして、土居村の小学校では人形を処分しなかったのでしょうか。学校中を一つにした思いについて、みんなで話し合しましょう。 3. 国際交流について確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○外国の人たちと心を通わせて交流するために、大切にしたいことについて、自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他国の人たちと心を通わせて交流することの大切さに気づき、すすんで他国の人たちと親しくしようすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *他国の人たちと心を通わせて交流することを理解し、現代社会に生きる一人の人間としてすすんで他国の人たちと親しくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、総合的な学習、国際理解教育	



学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	27 新幹線開発物語 「目標に向かって進む」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	多くの困難に直面しながらも新幹線の開発を進めた三木忠直さんの思いについて話し合うことをとおして、希望をもつことの大切さを知り、困難があってもくじけずに目標に向かって努力し、物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 目標に向かって努力し続けることについて考える。 ○目標に向かって努力し続けるには、どんな考えが大切でしょう。 2. 『新幹線開発物語』を読んで、目標に向かって努力し続けることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○講演会で夢の超特急列車の話をして、大きな拍手をもらった三木忠直さんは、どのようなことを考えていたでしょう。 ★三木さんががんばることができた理由を考えてみましょう。また、どうしてそう思うのかについても考え、話し合ってみよう。 3. 目標に向かって努力し続けることについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○三木さんたちから学んだことは、どのようなことですか。自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *くじけずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやりぬこうとするについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *くじけずに努力し続けることを理解し、希望をもって物事をやりぬこうとするについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、キャリア教育
	28 百の診療所よりも一本の用水路を ——中村 哲—— 「他国の人たちのために」 【C 国際理解、国際親善】	1	アフガニスタンの人々のために働いた中村哲さんの生き方について話し合うことをとおして、他国の人々や文化を理解して人々のために力を尽くすことよき気づき、すすんで他国の人々と親しもうとする心情を育てる。	1. ほかの国の人たちのために活躍した人について考える。 ○世界で活躍する日本人の人について、知っていることはあるでしょうか。 2. 『百の診療所よりも一本の用水路を』を読んで、ほかの国の人たちのために働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「だれもがそこへ行かぬから、……」にこめられた中村哲さんの思いについて、どのように思いますか。 ★アフガニスタンの人々と一緒に井戸掘りや用水路建設に取り組んだ中村さんについて、どのように思いますか。 3. ほかの国の人たちのために働くことについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○他国の人たちとつながり合うことについて、中村さんの生き方から学んだのはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他国の人々のために力を尽くすことよき気づき、すすんで他国の人々と親しもうとするについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *他国の人々のために力を尽くすことを理解し、すすんで他国の人々と親しもうとするについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、総合的な学習、国際理解教育
3月②	29 世代をこえた思いやり 「思いやりの心を大切に」 【B 親切、思いやり】	1	長い間寄付をし続けたA子さんとS子さんたちの行動について話し合うことをとおして、他者を思いやる心をもつことの大切さに気づき、すすんで他者に親切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 他者を思いやることについて考える。 ○世代を超えて受け継がれる思いについて考えよう。 2. 『世代をこえた思いやり』を読んで、他者を思いやることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○50年もの間、A子さんたちは、どうして寄付をし続けたのでしょうか。 ★A子さんとS子さんの思いが、Y子さんやY子さんの娘さんなどに受け継がれていることについて、どのように思いますか。 3. 他者を思いやることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○誰かのために、自分にできることをしようと思ったことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他者を思いやる心をもつことの大切さに気づき、思いやりの心をもった行動をすすんですることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *他者を思いやる心をもつことを理解し、すすんで他者に親切にしていこうについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	30 銀のしょく台 「相手を許す心をもつ」 【B 相互理解、寛容】	1	ミリエル司教が、ジャン・バルジャンに銀の食器だけでなく銀のしょく台まで与えた理由について話し合うことをとおして、広い心で許し合っていくために大切なことへの考えを深め、広い心で相手を受け止めようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 相手を許すということについて考える。 ○相手を許すことができるのは、どうしてでしょう。 2. 『銀のしょく台』を読んで、相手を許すということの大切さについて考える。 【考えよう】 ○心に残ったのはどこですか。また、なぜそこが心に残ったのでしょうか。 ★なぜミリエル司教は銀の食器だけでなく、銀のしょく台まで与えたのでしょうか。 3. 相手を許すということについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○広い心で相手と接するために大切なのは、どのような考え方でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分と異なる意見や立場であっても広い心で許し合うことの大切さに気づき、広い心で相手を受け止めることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分と異なる意見や立場であっても広い心で許し合うことを理解し、広い心で相手を受け止めることについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語



学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	31 東の羽生、西の村山 ——天才棋士 村山 聖——  「くじけずに努力する」  【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	「それが人間の宿命であり、幸せだ。」という村山聖の言葉の意味について話し合うこととおして、自分の生き方や進路などについて考えることの大切さに気づき、困難があってもくじけずに物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 目標に向かって努力することについて考える。 ○今、自分ががんばっているのは、どんなことでしょう。 2. 『東の羽生、西の村山』を読んで、目標に向かって努力することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○村山聖が名人に挑戦することを諦めなかったのは、どうしてでしょう。 ★村山は、自分の人生に悔いはなかったのでしょうか。みんなで話し合しましょう。 3. 目標に向かって努力することについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○村山の生き方から学んだことをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の生き方などについて考えることの大切さに気づき、くじけずに物事をやりぬこうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自己の生き方を重ね合わせながら、困難があってもくじけずに物事をやりぬこうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	キャリア教育
適時	32 この空は遠い日本とつながっている ——和田 重次郎——  「家族の幸せのために」  【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	遠く離れている母のことを大切に思う和田重次郎の思いについて話し合うこととおして、家族を大切にすることのよさに気づき、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○和田重次郎って、どんな人だったのでしょうか。 2. 『この空は遠い日本とつながっている』を読んで、家族のことを思うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○和田重次郎は、どのようなことを思いながら母に手紙を書いていたのでしょうか。 ★なぜ、重次郎は「母がわたしを支えてくれている」と考えることができたのでしょうか。 3. 家族を思うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○家族を大切にしようと思ったり、家族のためにがんばろうと思ったりしたことはありますか。また、それはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族を大切にすることのよさに気づき、すすんで家族のために役に立とうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *家族を大切にすることを理解し、すすんで家族のために役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	—
適時	33 世界にひびく伝統の音  「伝統を受けつぐ」  【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	昔からの伝統の技術を受け継ぐ明珍宗理さんの姿について話し合うこととおして、伝統を守ることの意義や大切さを理解し、長く受け継がれてきたわが国や郷土の伝統的な文化を守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 伝統を守るということについて考える。 ○「伝統」という言葉から、どんなことを考えるでしょう。 2. 『世界にひびく伝統の音』を読んで、伝統を守っていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○明珍宗理さんは、どのような気持ちで「明珍火箸風鈴」を作り出したのでしょうか。 ★明珍家の人々にとって、伝統とはどのようなものなのでしょう。 3. 伝統を守っていくということについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○「伝統を受けつぐ」ということについて、どのようなことを学びましたか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *伝統を受け継ぐことの意義や大切さに気づき、長く受け継がれてきたわが国や郷土の伝統的な文化を守っていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *伝統を守ることの意義や大切さを理解し、多くの人々によって長く受け継がれてきたわが国や郷土の伝統的な文化を守っていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、伝統文化教育
適時	34 希 ——光の中を歩んだきょうだい——  「命がかがやかせる」  【D 生命の尊さ】	1	短い人生を懸命に生きた二人について話し合うこととおして、生命の大切さは家族などとのつながりの中にあることに気づき、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	1. 生命の尊さについて考える。 ○「生命って大切だな」と感じるの、どんなときでしょう。 2. 『希』を読んで、生命の尊さや大切さについて考える。 【考えよう】 ○光希君は「学校に行きたい。」と言ったのでしょうか。 ★歩希ちゃんと光希君のお父さんとお母さんが、この文章を書いたのは、どうしてでしょう。 3. 生命の尊さについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○「生命を大切にすること」について、どのようなことを学びましたか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *生命の大切さや自分がつながりの中にあることに気づき、かけがえのない生命を尊重することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *生命の大切さや自分がつながりの中にあることを理解し、かけがえのない生命を尊重することについて、自分との関わりで考えることができているか。	—

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	35 天から送られた手紙 「真理を探究する」 【A 真理の探究】	1	真理を探究し続けた中谷宇吉郎の姿勢について話し合うことをとおして、物事を探究するために必要な考え方に気づき、真理を探究していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 真理を探究することについて考える。 ○わからないことに会ったとき、どうしているでしょう。 2. 『天から送られた手紙』を読んで、真理を探究することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○何度も失敗を繰り返しながらも、上空と同じように水蒸気の温度や量を調節できる実験装置を作り上げることができたのは、中谷宇吉郎にどのような考えがあったからでしょう。 ★遠い遠い空のかなたから舞い降りてくる雪を見ながら、宇吉郎はどのようなことを考えていたでしょう。 3. 真理を探究することについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○「まだよくわかっていないこと」を探究するために大切なのは、どのような考え方でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *真理を探究するために必要な考え方に気づき、真理を探究し続けることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *真理を探究する心もち続けるということについて、自分との関わりで考えることができるか。	理科
適時	【資料】 SDGsってなんだろう(自分のこと、周りの人のこと、みんなや社会のこと、命や自然のこと) 【A 節度、節制 B 相互理解、寛容 C 公正、公平、社会正義 D 自然愛護 など】	—	SDGsについて理解し、興味・関心を高めながら、道徳で学ぶさまざまな事柄との関連を踏まえ、自分にはどのようなことができるのかを考え、取り組もうとする判断力や心情、実践意欲と態度を養うことを理解させる。		【多面的・多角的に考える】 *SDGsの目指す目標を、自分たちがその達成後の社会に生きることを意識しながら捉え、道徳で学んだことを生かして自分たちにできることを多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *SDGsの目指す目標について、道徳で学んだことを生かして、その必要性、大切さについて考えを広げ、自分との関わりで考えることができるか。	—
適時	学習をふり返ろう	—	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		*心に残った話(教材)とそれを選んだ理由について、友達と互いの考えを交流し、自分の学びを振り返ることができるか。 *一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて友達と意見を交流することで、一年間の学びの自己評価ができるか。	—